

# 令和7年度

## 当初予算編成・ 組織改正（案）の概要

幸福度  
日本一



令和7年2月  
静岡県

# 今後の県政運営に向けた2つの決意

## ～ L G X (ローカル・ガバメント・トランスフォーメーション)の推進 ～

### チャレンジ元年

- 人口減少や社会を大きく変える技術革新などを前提として、積極的にチャレンジします
- 生成A I やデジタル技術を前提とした働き方の変革を推進します
- 積極的に新たなチャレンジに取り組む職員を高く評価します
- 新たにスタートアップと連携し、効果的・効率的に政策を推進します
- 若手職員の提案制度を設け、斬新なアイデアを積極的に採用します

### 財政改革元年

- 新たな取組を積極的に進めるため、10年間の「中期財政計画」を策定し、持続可能で健全な財政基盤の構築に着手します
- 今後4年間(R7～10)を「改革強化期間」と定め、集中的に改革を進めます

- 「幸福度日本一の静岡県」を目指し、次期総合計画の経営方針に沿って、  
予算と組織を編成
  - <予算> 次期総合計画の8つの重点取組や未来を拓く積極的なチャレンジに集中配分
  - <組織> 企画立案や部局横断調整の機能強化など、政策の推進体制を強化

## 方針1

## 幸福度日本一の静岡県の実現

### I 8つの重点取組

- 伊豆半島をはじめとした防災の推進
- 新たな産業活力の創造
- 再生可能エネルギー等の導入促進
- 次世代モビリティの導入促進
- 地域交通のリ・デザイン
- こども・子育て支援の充実
- 医療・福祉人材の確保
- 外国人の受入と多文化共生社会の構築

### II 未来を拓く積極的なチャレンジ

### III 分野別の取組

## 方針2

## 行政経営の推進

(1) 政策の推進に向けた組織体制の強化

(2) 中期財政計画

# 令和7年度当初予算の規模

一般会計(前年度比)

**1兆3,723億円** (+563億円、+4.3%)

(単位：億円、%)

区分	R7当初	R6当初	増減	伸率
一般会計	13,723	13,160	563	4.3
特別会計	9,489	8,898	591	6.6
企業会計	878	806	72	8.9
計	24,090	22,864	1,226	5.4

# 歳出・歳入の特徴（一般会計）



Shizuoka Pref.

(単位：億円)

区 分	R7当初	R6当初	増 減	主な増要因
歳 出	13,723	13,160	563	
義務的経費	6,585	6,485	100	医療・介護等の社会保障経費の増
税 収 関 連 法 定 経 費	2,656	2,354	302	市町への税交付金の増
投資的経費	1,962	1,951	11	県立学校の施設整備の増
そ の 他	2,520	2,370	150	G I G Aスクール端末更新の増
歳 入	13,723	13,160	563	
一般財源等	10,316	9,841	475	県税（法人2税ほか）の増
特 定 財 源	3,407	3,319	88	G I G Aスクール端末更新基金繰入金の増

I 8つの重点取組

II 未来を拓く積極的なチャレンジ

III 分野別の取組

# I-① 伊豆半島をはじめとした防災の推進



Shizuoka Pref.

## ○能登半島地震を教訓として、伊豆半島をはじめとした防災の取組を強化

R 6 : 発災直後に顕在化した課題(大規模火災等)に迅速に対応(感震ブレーカー補助等)

R 7 : 国の報告書で示された対策を踏まえ、必要な取組を強化

R 8 : 地震被害想定や地震・津波対策アクションプログラムを見直し、対策を深化

### 道路ネットワークの強靱化 [P. 52]

#### ○ 伊豆縦貫道の機能を高める肋骨道路の整備

- ・ 国道414号静浦バイパス
- ・ 県道河津下田線 ほか

#### ○ 緊急輸送路の耐震対策

- ・ 橋梁耐震化(～R14)  
205橋



事業費

174億400万円

### 住宅耐震化支援 [P. 111]

#### ○ 木造住宅の耐震化を促進

- ・ 無料耐震診断の延長(～R7)
- 新規** 耐震シェルター等の導入支援
- ・ 800件 (R8→R7に前倒し)



事業費

5億5,200万円

### 孤立地域対策 [P. 105] [P. 131、132]

#### ○ 市町の地震・津波対策を支援

- ・ 福祉避難所、救護病院等への非常用電源の設置
- ・ 拠点ヘリポートの資機材整備

事業費

23億円

#### **新規** 避難所等の環境改善

- ・ トイレカー、シャワー等の整備
- スターリンクの整備
- ・ 20台

事業費

(2月補正) 5,900万円

# I-② 新たな産業活力の創造

- 将来の産業発展に向けて、「スタートアップ先進県」を実現する取組を強化
- 「企業立地日本一」を目指し、県内への企業誘致と産業団地の開発を強化

## スタートアップ先進県を実現する取組 [P.7]

### 新規 バンチャーキャピタルと連携した 資金調達支援制度の創設

- ・対象：県内スタートアップ
- ・交付率：1/2(上限4,000万円)

ほか



### 新規 シズオカ・スタートアップ・デイ

- ・場所：東京都内
- ・内容：次世代プロジェクト等とのマッチング



### ○ ネクストイノベーターの創出

- ・起業体感プログラム  
(高校生20~30人程度)

事業費

6億8,000万円

## 企業立地日本一に向けた取組 [P.20]

目標 企業立地件数：75件/年  
産業団地開発：今後10年間で500ha

### 新規 知事トップセールスによる誘致強化

- ・首都圏セミナーの開催
- ・営業ツールの強化

### ○ 誘致体制の強化

- ・東京事務所等+3人

### 新規 産業団地の開発支援

- ・市町の適地調査への支援
- ・補助率：1/2(上限300万円)



事業費

120億6,300万円



# I - ③ 再生可能エネルギー等の導入促進

## ○再生可能エネルギーの更なる導入拡大や水素の利活用を強力に推進

- ・「次世代太陽電池」の導入を拡大し、「ペロブスカイト先進県」を目指す
- ・山梨県との連携強化により、水素の利活用を促進

### 再生可能エネルギーの導入拡大

[P. 39]

新規

#### 次世代太陽電池(ペロブスカイト)の導入

- ・早期実装や製品開発に向けた部会の設置  
構成員：開発事業者、県内企業、市町等
- ・県有施設への導入実証(清水マリビル)

新規

#### エネルギー総合戦略の 中間見直し

- ・有識者、事業者による  
協議会の開催

出典：積水化学工業(株)



ペロブスカイト

事業費

2億2,100万円

### 水素関連ビジネスの創出

[P. 39]

新規

#### 水素先進県の山梨県と連携を強化

- 産学官によるプラットフォーム構築
  - ・水素専門コーディネータ設置(1人)
  - ・小型燃料電池ユニットの開発 ほか
- 新技術開発への助成
  - ・補助率：2/3(上限1,000万円) ほか
- 首都圏展示会(FC EXPO)への共同出展
  - ・R7.9月



燃料電池バス

事業費

5,800万円

# I-④ 次世代モビリティの導入促進

○新しい空の移動手段となる「次世代エアモビリティの先進導入地域」を目指す

⇒ 令和9年度の商用運航開始に向け、ロードマップに基づく取組を展開

○次世代自動車など、陸・海の次世代モビリティへの取組も強化

## 次世代エアモビリティの取組加速化 [P.5]

**新規** ロードマップに基づく取組を展開



- **実機飛行**
  - ・デモフライトによる認知度向上
- **観光用途等の需要調査**
  - ・利用者層、料金水準等



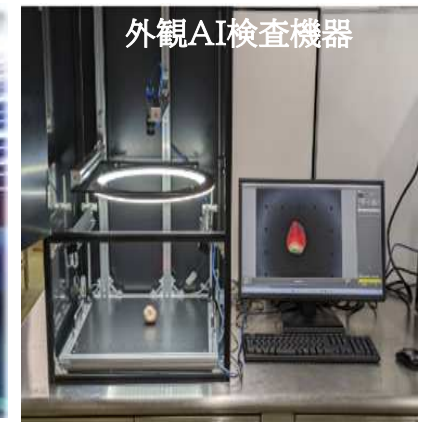
事業費

7,000万円

## **新規** 企業と連携したAI活用モデルの実証 [P.11]

○生成AI等の最先端技術を活用した次世代自動車部品開発の実証実験

- ・内容：自動車部品の3Dモデル自動設計  
高精度外観検査 ほか



事業費

1億1,900万円

# I - ⑤ 地域交通のり・デザイン

- 日常生活の公共交通を確保できない地域で「公共ライドシェア」を積極的に導入
- 多様な輸送資源の活用や共助型交通の導入等により、誰もが移動に困らない社会を実現

## 新規 公共ライドシェアの全県展開

[P. 55]

### ○ライドシェアの導入

**目標** 13市町(R6) → 24市町(R10) → 必要な全市町(R15)

### ○市町の導入を伴走支援

- ・市町、事業者向けセミナーの開催
- ・アドバイザー派遣(40回)



事業費

(2月補正を含む) 1,300万円

## 新規 多様な輸送資源の活用

[P. 55]

### ○ホテル・旅館の車両等の共同利用(2月補正)

- ・車両や運転手などの地域交通資源の活用可能性を調査(賀茂地域等)



事業費

(再掲) 1,300万円

# I-⑥ こども・子育て支援の充実

## ○ 「こども第一主義」で、こども・子育てを支援

- ・ ライフステージ（結婚・出産・子育て）に応じた切れ目のない支援を実施
- ・ 男女で家事・育児を分担し、共に育てる「共育て先進県」を目指す
- ・ 声の届きにくいこどもの意見（こども目線）を積極的に施策に反映

### 少子化対策、子育て支援の充実 [P. 59] [P. 60]

新規

「ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤」の改訂

- ・ 地域特性に応じた分析
- ・ 市町向け評価分析ツールの整備

事業費

6億700万円

全国初

### 「共育て」推進に向けた 男性育休の長期化促進

- ・ 対象：中小企業の男性従業員
- ・ 内容：国支援 ～28日  
→ 県上乗せ 29～56日
- ・ 支給額：上限5万円

※ 雇用主側の意識改革も  
あわせて実施(くるみん認定)



育児をする男性

事業費

2,400万円

### 「こども目線」による施策展開 [P. 61] [P. 82]

○ オンラインプラットフォーム「こえのもりしずおか」の活用

- ・ こども、若者提案の募集、発表会の開催



事業費

1,200万円

新規

こどもの自殺危機対応チームの設置

- ・ 構成員：精神科医、精神保健福祉士、弁護士ほか
- ・ 内容：学校や市町への指導・助言
- ・ 会議：10回程度

事業費

1億3,200万円

# I - ⑦ 医療・福祉人材の確保

- 県全域で医学修学研修資金制度を活用し、医師の確保・定着を促進
- 東部地域では、既存病院の拠点化を進めるなど、段階的に医師を確保
- 介護分野は、生産性の向上と外国人材の確保を強化

## 継続的な医師確保対策の推進

[P. 86]

- 医学修学研修資金の貸与
  - ・新規枠：120人
  - ・貸与額：20万円/月

事業費

41億3,900万円

## 介護人材の確保、生産性向上

[P. 74]

- 介護生産性向上総合相談センターの新設
  - ・ケアプラン作成支援AI等の導入（モデル地域：2箇所）
- 外国人介護人材の介護福祉士資格取得支援
  - ・研修会の開催（3講座）



事業費

7億6,800万円

## 新規 東部地域における医師確保対策

[P. 85]

- 目標 5年後の東部地域の勤務医師数：+80人程度  
(うち、偏在解消強化による効果：+30人程度)

<偏在解消強化>

- 指導医を派遣調整する寄附講座等の設置(浜松医大)
- 専門医養成に向けた体制構築
  - ・病院総合診療医(浜松医大)
  - ・小児科医、産婦人科医(順天堂大)



事業費

1億円

# I-⑧ 外国人の受入と多文化共生社会の構築



Shizuoka Pref.

- 他県に先駆けてICCネットワークに加盟し、外国人に選ばれる「日本一の多文化共生推進県」を実現
- 本県の特産品（お茶、日本酒など）の販路を拡大するため、UCLG（世界都市自治体連合）に加盟し、欧州での本県の地位確立を目指す

新規

## 国際的な組織への加盟

[P. 96]  
[P. 43]

### ○ ICCネットワークへの加盟

- ・効果：外国人材の確保  
：多文化理解の促進等

※ICC

…インターカルチュラルシティプログラム  
多様性を都市の活力や成長に繋げる新たな政策



事業費

700万円

### ○ UCLG（世界都市自治体連合）への加盟

- ・効果：県産品の販路拡大  
：ウェルビーイング先進国との交流

※UCLG…140以上の国・地域の都市が加盟する世界最大の地方自治体連合組織  
加盟都市：バルセロナ、パリ、ローマ ほか

事業費

1,000万円

## 高度外国人材の受入

[P. 43]

新規

インド・グジャラート州  
との友好協定に基づく  
高度人材の確保

- ・海外スタートアップの招へい
- ・現地就職説明会の開催



事業費

2,400万円

## 外国人材の就業機会の確保

[P. 16]

新規

外国人材受入れ企業相談窓口の設置

- ・外国人雇用セミナーの開催(6回)
- ・出張相談会の開催(8回)

事業費

7,000万円

# Ⅱ 未来を拓く積極的なチャレンジ①

- 本県が直面する課題解決に向けて、時代を先読みした新たな取組を「チャレンジ事業」として実施
- 事業期間は複数年とし、財源と人員を集中配分

新規

## アボカドの産地化

[P. 25]

### 気候変動に適応した新たな農産物の開発

#### ○ 栽培技術の確立

- ・ 幼木の安定生育技術の栽培試験、実証

#### <スケジュール>

- ・ R7~8 : 栽培実証、生産マニュアル作成
- ・ R9~ : 生産拡大

#### ○ 流通チャネル確立

- ・ ブランド化に向けたレシピ開発
- ・ AIを活用した選果技術の開発



アボカドの果実

事業費

1,800万円、4人体制

## デジタルクリエイター育成

[P. 6]

#### ○ 静岡理科大学でのXRコース新設(予定)

#### <スケジュール>

- ・ R6 : カリキュラム開発
- ・ R7 : 国に申請(予定)
- ・ R8~ : 他の学校に拡大  
毎年200人以上が受講

※XR…クロスリアリティ

現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を創造



事業費

2,000万円、2人体制

新規

## 特別支援教育の充実

[P. 70]

#### ○ 教員の経験に頼った指導プロセスの変革

- ・ 教員のノウハウを学習したAIアシストツールの開発(R9~導入)

事業費

1,200万円、2人体制

# Ⅱ 未来を拓く積極的なチャレンジ②

## 聴覚障害児の一貫した支援

[P. 76]

### ○ 全国のモデルとなる療育の開始

県立病院、シェパードセンター  
(オーストラリア) との連携

<スケジュール>

- ・ R7~9 : 療育開始(10人程度/年)
- ・ R10~ : 本格実施



事業費

1億6,000万円、3人体制

## 道路メンテナンスDX

[P. 51]

自治体初

### 効率的な維持管理手法の確立

- ・ AI解析等による道路の異常検出・補修計画の策定



事業費

6,400万円、10人体制(土木事務所含む)

新規

## 防災業務へのDX活用

[P. 50]

### ○ 静岡発の遠隔災害支援システムの構築

- ・ 3次元点群データを活用し、被災状況を調査
- ・ 国土交通省等と連携し、新たな支援体制の構築

<遠隔支援システムのイメージ>



<施策のイメージ>



事業費

2,000万円、10人体制(土木事務所含む)



# Ⅲ 分野別の取組①（産業・交流）

## 静岡茶の戦略的展開

### お茶関連事業

[P. 27]

新規

#### 「静岡茶リ・ブランディングプロジェクト」

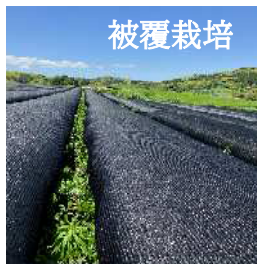
##### ○ 世界に向けた統一的品牌戦略

- ・ R7：計画策定、統一ブランド構築
- ・ R8：商品開発、海外展開



##### ○ 輸出向け品種転換等への支援

- ・ 対象：輸出生産者グループ
- ・ 補助額：改植(15.2万円/10a) ほか



##### ○ 第9回世界お茶まじりの開催

- ・ テーマ：光輝燦然！ #私のO-CHA和ールド
- ・ 期間：春の祭典：4/19～5/21(県内全域)  
秋の祭典：10/23～26(静岡市)



事業費

(2月補正を含む) 8億7,300万円

## 海外誘客の強化

### 観光関連事業

[P. 46]

新規

#### 上質な体験の提供による観光誘客

- ・ スタートアップと連携したインバウンド向け高付加価値旅行商品の開発
- ・ ナイトタイムコンテンツ商品の開発



新規

#### 高齢者・障害のある人が旅行しやすい環境整備

- ・ 観光施設のバリアフリー化



新規

#### 高級ホテルの誘致活動の推進

事業費

23億6,600万円

### 空港振興関連事業

[P. 49]

#### ○ 富士山静岡空港の就航・利用促進

- ・ 東アジア、東南アジアとの新規就航に向けた取組を強化



香港線新規就航(R6.12～)

事業費

32億3,300万円

# Ⅲ 分野別の取組①（産業・交流）

## 次世代産業の創出

### マリンバイオ産業の推進 [P.10]

#### ○ ブルーエコノミーEXPOの充実

- ・ 出展者数：46 → 70団体
- ・ 参加国の拡大(6か国以上)
- ・ 海外スタートアップの招致



事業費

4億2,000万円

## 林業の成長産業化

### 新規 森林認証の推進 [P.31]

#### ○ 森林認証の導入拡大支援

- ・ 対象森林の集約化
  - ・ 生産基盤整備(作業道等)
  - ・ J-クレジット登録
- 対象：林業経営体  
助成単価：高規格作業道  
25,000円/m ほか



作業道整備

事業費

6,300万円

## 地域を支えるまちづくり

### 新規 しずおかリノベーションまちづくり [P.23]

#### ○ 市町等の課題解決支援

- ・ リノベーションスクールの開催支援  
対象：県内3か所程度 ・ 補助率：1/2
- ・ メンターによる伴走支援  
対象：20地域

#### ○ プラットフォームの構築

- ・ 実践者交流会 ほか



事業費

4,200万円

### 住んでよし しずおか木の家推進事業 [P.32]

#### ○ 住宅等の県産材利用を促進

- ・ 新築、リフォームへ助成
- ・ 森林認証材の利用加算  
限度額：30 → 40万円/棟  
ほか



事業費

2億円

# Ⅲ 分野別の取組②（教育・文化）

## 教育環境の充実

### **新規** きめ細やかな小1 少人数支援 [P. 69]

#### ○ 支援員の配置による「小1ギャップ」の解消

- ・対象：31人以上の学級
- ・配置数：80人(58校)
- ・時間：15時間/週



事業費 5,000万円

### 魅力ある高等学校づくり [P. 71]

- 国際バカロレア教育
  - ・ふじのくに国際高校へのバカロレア教育の導入準備(R8～導入)
- 新しい学びの創出
  - ・ICT活用による授業方法の転換
  - ・探究活動の推進



事業費 2億3,000万円

## 文化・芸術の振興

### 富士山の保全と安全登山の強化 [P. 102]

#### **新規** 富士登山における安全対策

- ・条例による登山規制、入山料の徴収(4,000円/人)
- ・規制箇所：3登山口、4か所(24時間体制)

#### **新規** 富士宮口五合目来訪者施設整備

- ・コンストラクション・マネジメントの導入による事業推進
- ・R7～8：事業者選定契約



事業費 5億1,800万円

### **新規** 東部・伊豆地域文化ネットワークの推進 [P. 100]

- 「富士山・駿河湾・伊豆文化ゾーン(仮称)」の構築
  - ・官民連携による文化ネットワークの形成
  - ・旧ヴァンジ彫刻庭園美術館の活用

事業費 5,400万円

# Ⅲ 分野別の取組③ (健康・安全等)

## ウェルネス産業の振興・健康寿命の延伸

### **新規** 静岡ウェルネスプロジェクト [P. 94]

ウェルネス産業の振興と健康寿命延伸を目指す  
「静岡ウェルネスプロジェクト」を立ち上げ

**全国1位の健康寿命を更に延伸**

#### ○ ウェルネス・フーズEXPOの開催

- ・静岡発の食品・健康等の  
新たなビジネスの創出



#### ○ 新たなプラットフォームの設立

- ・ビジネス創出に向けた異業種交流の推進

**事業費** 1億2,700万円

## 安全な生活の確保

### **新規** 犯罪被害者等の支援 [P. 113]

#### ○ ワンストップサービス体制の構築

- ・支援コーディネーターの設置(1人)
- ・支援調整会議の開催

#### ○ 犯罪被害者や遺族への見舞金の創設 (30万円/件ほか)

**事業費** 4,400万円

### 警察官の増員 [P. 124]

#### ○ サイバー犯罪、匿名・流動型犯罪 グループ等への対応

- ・6,195 → 6,211人 (+16人)



**事業費** 4,900万円

## DX人材の育成

### **新規** 職員のデジタルリテラシーの向上 [P. 127]

- 全職員が生成AIを活用できる環境整備
- 全職員へのeラーニングの実施

**事業費** 1億7,400万円

### **新規** DX人材エコシステムの創出 [P. 127]

- 小中高生を対象としたプログラミング講座
- ・DX人材の安定的な育成・供給サイクルを確立

**事業費** 500万円

# 2月補正予算①

2月補正

一般会計 **566** 億円 (国補正分)

(単位：億円)

区分	補正額	主な内容
経済の成長	156	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G Aスクール端末更新のための基金積み増し</li> <li>・ 介護事業者等への一時金の支給</li> <li>・ 農業用設備の導入に対する支援</li> </ul> <p>ほか</p>
物価高の克服	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関、福祉施設、私立学校等への支援</li> <li>・ 農業・畜産業・漁業者への支援</li> <li>・ L P ガス料金引き下げの支援</li> </ul> <p>ほか</p>
安心・安全の 確 保	326	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災・国土強靱化(道路、河川、砂防ほか)</li> <li>・ 保育士の処遇改善に対する支援</li> <li>・ 災害時に活用するトイレカーの整備</li> </ul> <p>ほか</p>
計	566	

# 2月補正予算②

## 経済の成長

### 強い農業・担い手づくり支援 [P. 29]

- 農業者への施設整備支援
  - ・対象経費：施設整備に要する経費
  - ・補助率：1/2 ほか



事業費

23億4,300万円

## 安心・安全の確保

### 防災・減災・国土強靱化 [P. 136]

- 国補正予算に呼応した公共事業の実施
  - ・巴川 遊水地（静岡市）
  - ・黄瀬川大橋 橋梁（沼津市）



事業費

304億3,700万円

## 物価高の克服

### 事業者支援 [P. 134]

- 医療機関、福祉施設、私立学校等への支援
  - ・支援額 病院：13,000円/床
  - 介護入所施設：4,500円/人

ほか

- 農業、畜産業、漁業者への支援
  - ・支援額 施設園芸燃油：12.1円/L
  - 家畜用飼料：270円/t

ほか



事業費

69億9,000万円

### 生活者支援 [P. 135]

- LPガス料金引き下げの支援
  - ・支援額 1,600円/戸
- 子ども食堂への支援
  - ・支援額 19万円/か所



事業費

14億3,600万円

(1) 政策の推進に向けた組織体制の強化

(2) 中期財政計画

# (1) 政策の推進に向けた組織体制の強化



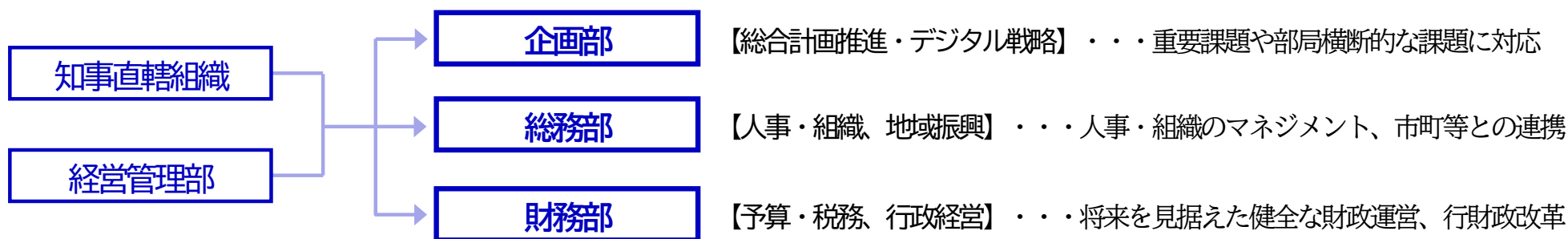
Shizuoka Pref.

幸福度日本一の静岡県の実現に向け、重要課題に迅速かつ的確に対応できるよう組織定数の改正を行う。

## LGXの推進に向けた体制の整備

### ○企画部、総務部、財務部の設置

- ・知事直轄組織及び経営管理部を再編し、LGX推進の牽引役となる企画部、総務部、財務部を設置



## こども施策の一体的な推進体制の構築

### ○こども・若者と子育て家庭への切れ目のない支援の展開

- ・本県のこども施策の司令塔として、健康福祉部に「こども若者政策部長」を設置
- ・こども関連施策を一体的に推進するため、スポーツ・文化観光部、教育委員会から業務を移管した上で、健康福祉部に「こども若者局」を設置（+3人）

## 本県経済の活性化に向けた体制強化

### ○スタートアップ支援と企業誘致体制の強化

- ・産業イノベーション推進課の増員（+1人）
- ・企業立地推進課及び東京事務所の増員（+3人）

## 盛土対策の推進に向けた体制強化

### ○申請者の利便性向上のための審査体制拡充

- ・本庁に加えて4土木事務所（沼津・富士・島田・袋井）で審査を実施（+7人）



## (2) 中期財政計画



- 今後10年間（R7～16）の財政運営の目標を定めた「中期財政計画」を策定
- 国の基準に加え、県独自の目標を設定し、計画的に財政を運営

### <財政運営の目標>

区分	現状（R5末）	目標（R16末）	考え方
県債残高	1兆5,882億円	1,000億円程度削減（R6末比）	標準財政規模に対する割合 全国平均以下を目指す
将来負担比率	235.5%	400.0%以内	国基準
実質公債費比率	13.6%	18.0%以内	国基準
プライマリー バランス	+191億円	毎年度黒字	各年度において 行政サービスを税収等で賄う

### <改革の主な取組>

- 歳出：投資的経費の適正化、大規模プロジェクトの見直し、歳出のスリム化 ほか
- 歳入：未利用財産（知事公舎等）の売却、受益者負担の適正化 ほか